

番 号 : 140626

国 名 : カンボジア

担当部署 : 社会基盤・平和構築部運輸交通・情報通信グループ

案件名 : 道路・橋梁の維持管理能力強化プロジェクト詳細計画策定調査 (道路・橋梁運営維持管理技術)

1. 担当業務、格付等

- (1) 担当業務 : 道路・橋梁運営維持管理技術
- (2) 格 付 : 2号
- (3) 業務の種類 : 調査団参团

2. 契約予定期間等

- (1) 全体期間 : 2014年9月上旬から2014年10月中旬まで
- (2) 業務M/M : 国内 0.50M/M、現地 0.47M/M、合計 0.97M/M
- (3) 業務日数 : 準備期間 5日 現地業務期間 14日 整理期間 5日

3. 簡易プロポーザル等提出部数、期限、方法

- (1) 簡易プロポーザル提出部数 : 1部
- (2) 見積書提出部数 : 1部
- (3) 提出期限 : 8月20日(12時まで)
- (4) 提出方法 : 専用アドレス (e-propo@jica.go.jp) への電子データの提出又は
郵送(〒102-8012 東京都千代田区二番町5番地25二番町センタービル) (いずれも
提出期限時刻必着)

※2014年2月26日以降の業務実施契約(単独型)公示案件(再公示含む)より、電子媒体による簡易プロポーザルの提出を本格導入しています。

提出方法等詳細についてはJICAホームページ(ホーム>JICAについて>調達情報>お知らせ>「コンサルタント等契約における業務実施契約(単独型)簡易プロポーザルの電子提出本格導入について」(http://www.jica.go.jp/announce/information/20140204_02.html))をご覧ください。なお、当機構本部1階調達部受付での受領は廃止しておりますので、ご持参いただいても受領致しかねます。ご留意ください。

4. 簡易プロポーザル評価項目及び配点

- (1) 業務の実施方針等 :
 - ①業務実施の基本方針 16点
 - ②業務実施上のバックアップ体制等 4点
 - (2) 業務従事者の経験能力等 :
 - ①類似業務の経験 40点
 - ②対象国又は同類似地域での業務経験 8点
 - ③語学力 16点
 - ④その他学位、資格等 16点
- (計100点)

類似業務	橋梁維持管理技術に係る各種調査
対象国/類似地域	カンボジア/全途上国
語学の種類	英語

5. 条件等

- (1) 参加資格のない社等 : 特になし
- (2) 必要予防接種 : なし

6. 業務の背景

カンボジアにおける主要な交通手段は道路、鉄道、水運（河、湖）であるが、そのうち道路輸送の占める割合は乗客輸送（人・km）で旅客輸送の約 65%（2006 年）、貨物輸送の約 70%（2006 年）となっており、道路輸送が大きな役割を果たしている。しかし、カンボジアの道路網（総延長 44,709km、このうち国道 5,263km）（2012 年）のほとんどは 1920～30 年代に建設された古い道路であり、1970 年以降の内戦の影響により主要道路・橋梁等の多くが破壊された。さらに、重量車両の過大な通行、定期的が発生する川の氾濫等のため、道路・橋梁ともに破損も激しく、カンボジアの道路事情は劣悪である。また、内戦終了以降、自国予算及び各種援助機関により道路・橋梁の整備が進められてきたものの、道路網整備のための人材、財源、技術、機材は不足している状況である。

このため、我が国を含む各国ドナー支援により、復旧・改修や計画策定を中心とした支援が行われてきた。現在は、これらドナー協力により舗装率（2012 年現在）はいわゆる一桁国道（国道 1～8 号線の 2,117km）が 99.1%となっている。また、JICA が派遣した道路管理アドバイザーや関連技術協力事業の専門家からの技術指導により、道路維持管理に係る点検・記録等の基礎的業務については実施機関である公共事業運輸省（以下、MPWT）自身で実施できる程度に達している。一方、橋梁維持管理については体系的な方法が確立しておらず、定期点検等の基礎的業務も実施されていない状況である。

これより、2012-2013 年にかけて、JICA は橋梁のインベントリ調査及び、その後の技術協力プロジェクトのコンポーネント検討のため、開発調査型技術協力「橋梁改善調査プロジェクト」を実施した。本調査では、MPWT 及び農村開発省が管理している約 200 橋における橋梁の補修や、MPWT の橋梁に係る維持管理能力強化の必要性が指摘された。

このような背景のもと、「道路・橋梁の維持管理能力強化プロジェクト」がカンボジア政府より 2012 年 8 月に要請された。①MPWT の橋梁の維持管理能力強化が喫緊の課題であること、②MPWT の維持管理に係る部局の人員は道路・橋梁あわせて十数名程度と限られていること、③道路・橋梁の両コンポーネントを本事業に組み込んだ場合、業務が多岐に渡りすぎ、技術習得を確実なものとする上で現実的ではないこと、これら 3 点を考慮して本事業では橋梁の維持管理能力強化に係る技術指導の比重を高め、道路については過去のフォローアップ程度のコンポーネントを検討することとする。

本詳細計画策定調査にて MPWT と協議の上、協力コンポーネントの策定を行う。なお、本事業のコンポーネントでは国の経済社会面への影響が特に大きい MPWT 管理下の幹線道路網に付随する橋梁を対象とする。また、昨今、我が国の支援したチュローイチョンバー橋の補修工事の必要性が高まっているところ、本事業の第二年次には当該橋梁を対象とした MPWT 主体による補修工事の活動支援（以下、パイロットプロジェクト）の実施も検討している。

7. 業務の内容

本調査は、「道路・橋梁の維持管理能力強化プロジェクト」の実施に向けて、本案件の要請背景の確認、関連情報の収集を行ったうえで、先方政府関連機関と案件の枠組み（上位目標、プロジェクト目標、成果、指標、活動、協力期間、実施体制、投入）について協議し、M/M に署名することを目的とする。

具体的担当事項は次のとおりとする。

（1）国内準備期間（2014年9月上旬）

- ① 要請背景・内容を把握（要請書・関連報告書等の資料・情報の収集・分析）の上、現地調査で収集すべき情報を検討し、必要に応じ、MPWT（C/P 機関）等に対する質問票（案）（英文）を作成する。
- ② プロジェクトの PDM (Project Design Matrix) 案、PO (Plan of Operations) 案を事前に検討する。

(2) 現地派遣期間 (2014年9月中旬～9月下旬)

- ① 当機構カンボジア事務所と打合せを行う。
- ② MPWT・プノンペン都公共事業運輸局 (DPWT) 等のカンボジア側各関係機関との協議及び現地調査に参加する。
- ③ 事前に当機構カンボジア事務所を通じて関係機関に配布した質問票の回収に協力し、担当分野について分析を行うとともに、プロジェクトの背景・経緯を確認する。
- ④ MPWT における道路インフラ局 (RID) 等の、各道路・橋梁の管轄組織とその権限・役割、意思決定プロセス等を確認する。
- ⑤ 上記組織の組織体制、保有機材、運用状況を確認する。
- ⑥ 上記組織の橋梁点検・補修並びに維持管理能力の現状及び課題を確認する。
- ⑦ MPWT の所有する既存の橋梁データベース及び橋梁点検・補修ガイドラインの現状・課題を確認する。
- ⑧ 第二年次に想定しているパイロットプロジェクトを実施するにあたって、対象候補地域及び対象候補橋梁 (現状ではチュローイチョンワー橋を想定。) の検討を行い、それらの現状及び課題を確認する。
- ⑨ MPWT が主体となって実施するパイロットプロジェクトの実施支援計画を検討する。
- ⑩ 上記組織における道路維持管理能力の現状及び課題を確認し、要すればフォローアップ協力のコンポーネントを検討する。
- ⑪ シュミットハンマー、テストハンマー、クラックスケール等の必要機材の検討を行い、要すれば仕様及び調達方法を確認する。
- ⑫ 道路・橋梁分野において、他ドナーや国際機関の協力実績・予定を確認する。
- ⑬ プロジェクトの基本計画を検討する。
(ア) 上位目標、プロジェクト目標、成果、活動 (研修内容含む)、対象地域を検討する。
(イ) 専門家、機材、研修等の日本側投入計画を検討する。
(ウ) 先方負担事項を整理する。
- ⑭ PDM 案、PO 案を作成する。
- ⑮ カンボジア関係者との協議で合意された内容につき、R/D 案及び M/M 案を作成する。
- ⑯ 当機構カンボジア事務所への現地調査結果報告に同行する。

(3) 帰国後整理期間 (2014年10月上旬～10月下旬)

- ① 帰国報告会にて調査結果を報告する。
- ② 事前評価表及び詳細計画策定調査報告書を作成する。

8. 成果品等

本契約における成果品は以下のとおり。

- (1) 担当分野に係る詳細計画策定調査報告書 (案) (和文)
電子データをもって提出することとする。

9. 見積書作成に係る留意点

本公示の積算を行うにあたっては、「JICAコンサルタント等契約における見積書作成ガイドライン」 (<http://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/quotation.html>) を参照願います。留意点は以下のとおりです。

- (1) 航空賃及び日当・宿泊料等
航空賃及び日当・宿泊料等は契約に含めず、当機構より別途支給します (見積書の航空賃及び日当・宿泊料等欄には0円と記載下さい)。
- (2) 臨時会計役の委嘱
以下に記載の一般業務費については、当機構カンボジア事務所より業務従事者に対し、臨時会計役を委嘱する予定です (当該経費は契約には含みませんので、見積書への記載は不要です)。
臨時会計役とは、会計役としての職務 (例: 現地業務費の受取り、支出、精算) を必要な

期間（例：現地出張期間）に限り機構から委嘱される方のことをいいます。臨時会計役に委嘱された方は、「善良な管理者の注意義務」をもって、経費を取り扱うことが求められます。

10. 特記事項

（1）業務日程／執務環境

①現地業務日程

当機構の調査団員は本業務従事者と同時に若しくは数日遅れて現地調査を開始し、本業務従事者より数日前に現地調査を終える予定です。すなわち、本業務従事者が単独で現地調査を行う期間があります。

②現地での業務体制

本業務に係る調査団構成は、以下のとおりです。

- ア) 団長（機構）
- イ) 計画管理（機構）
- ウ) 橋梁計画（国交省推薦）
- エ) 道路・橋梁運営維持管理技術（コンサルタント）
- オ) 評価分析（コンサルタント/別途公示予定）

③便宜供与内容

当機構カンボジア事務所による便宜供与事項は以下のとおりです。

- ア) 空港送迎
あり
- イ) 宿舍手配
あり
- ウ) 車両借上げ
全行程に対する移動車両の提供（機構職員等の調査期間については、職員等と同乗することとなります。）
- エ) 通訳備上
なし
- オ) 現地日程のアレンジ
機構がアレンジします。
- カ) 執務スペースの提供
なし

（2）参考資料

①公開資料

本業務に関する以下の資料が、JICA図書館のウェブサイトで公開されています。（以下、URL参照）

- ・「カンボジア国 全国道路網調査」事前調査報告書
<http://libopac.jica.go.jp/images/report/P0000164469.html>
- ・「カンボジア国 全国道路網調査」最終報告書
<http://libopac.jica.go.jp/images/report/P0000170285.html>
- ・「カンボジア国 全国道路網整備計画に係る基礎情報収集調査」最終報告書と文要約
<http://libopac.jica.go.jp/images/report/P1000009525.html>
- ・「カンボジア国 橋梁改善調査プロジェクト」最終報告書と文要約
<http://libopac.jica.go.jp/images/report/P1000009818.html>

②貸与資料

本業務に関する以下の資料を当機構社会基盤・平和構築部運輸交通・情報通信グループ（TEL:03-5226-8152）にて貸与します。

- ・「カンボジア国 道路・橋梁の維持管理能力強化プロジェクト」要請書（写）

③配布資料

本業務に関する以下の資料を当機構社会基盤・平和構築部運輸交通・情報通信グループ

(TEL:03-5226-8152) にて配布します。

- ・「カンボジア国 建設の品質管理強化プロジェクト」専門家業務完了報告書
- ・「カンボジア国 国道橋梁の改善調査プロジェクト」詳細計画策定調査報告書

(3) その他

- ①業務実施契約（単独型）については、単独（1名）の業務従事者の提案を求めている制度ですので、複数の業務従事者によるプロポーザルは無効とさせていただきます。
- ②カンボジア国内での活動においては、当機構安全管理措置を遵守するとともに、当機構総務部安全管理室、当機構カンボジア事務所の指示に従い、十分な安全対策措置を講じることとします。